

【瑞穂市】令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果



全国学力・学習状況調査は、小学校第6学年と中学校第3学年を対象に、児童生徒の学力や学習の状況、課題等を把握するとともに、それらを踏まえて児童生徒への学習指導の改善・充実に役立てることを目的として実施されています。教科に関する調査に加え、生活習慣や学習環境に関する質問紙調査も実施されています。なお、この調査により測定できるのは、学力のうち、特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどをご理解ください。

【瑞穂市全体の結果から】

小・中学校ともに教科に関する調査において、全教科が全国平均正答率と同程度以上の結果となりました。

【小学校】

国語	全国平均正答率と同程度となっています。
算数	全国平均正答率と同程度となっています。

【中学校】

国語	全国平均正答率を上回っています。
数学	全国平均正答率を上回っています。
英語	全国平均正答率を上回っています。

※令和5年度は、中学校で英語の調査が実施されました。

教科に関する調査の状況

【小学校】

- 国語** ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる問題や、日常よく使われる敬語に関する問題がよくできていました。
●目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける問題に課題が見られました。
- 算数** ○示された表から必要な数を読み取る問題や、三角形の面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する問題がよくできていました。
●示された日常生活の場面を解釈し、条件に当てはまるかどうかを判断する問題に課題が見られました。

【中学校】

- 国語** ○文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして記述する問題や、文章を読んで理解したことを知識や経験と結び付けて記述する問題がよくできていました。
●歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む問題に課題が見られました。
- 数学** ○累積度数に関する問題や、四分位範囲に関する問題がよくできていました。
○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題がよくできていました。
- 英語** ○言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書く問題や、肯定文を正確に書く問題がよくできていました。
○社会的な話題について、短い文章の要点を捉える問題がよくできていました。

質問紙調査

- ・「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒が小中学校ともに8割以上であり、全国を上回っています。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒が小中学校ともに9割以上であり、全国を上回っています。
- ・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した児童生徒は、小中学校ともに全国を上回っています。
- ・「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う」と回答した児童生徒は、小中学校ともに全国を上回っています。
- ・「家で自分で計画を立てて勉強している」と答えた児童生徒が全国に比べ、小中学校ともに10ポイント以上上回っています。
- ・住んでいる地域の行事に参加している児童生徒は、全国に比べ、小中学校ともに10ポイント以上上回っています。
(※1ポイント=1パーセントとしています。)

【今後の指導について】

小・中学校ともに児童生徒が学校や家庭において、学力向上を目指して継続的に取り組んでいる成果が表れています。しかし、思考・判断・表現に関するものに課題が見られる部分もありました。そのため、様々な学習活動において、考えを形成する指導や他者の考えに触れ、自己の考えを深める指導等を充実させることで、思考力、判断力、表現力等のさらなる向上につなげていきます。